

新年あけましておめでとうございます。

お元気にお過ごしのことと存じあげます。

昨年はいろいろな出来事がありました。いいこともつらいこともあり、生きているということはこういうことだとわかっている、実際に自分にふりかかると頭でわかっていることと体でわかることの違いを嫌というほど体験させられます。

子供寮も本当にいろいろなことがありました。そのときに修道会のシスター、こども達、卒寮生、職員みんなが祈ってくれたことが、なによりの支えになりました。時代が大きく変わり、施設もそれに対応していかなくてはなりません。

いろいろな人の助けと支えをいただきながら今より以上のレベルを目指して頑張っていきたいと思えます。

社会のニュースをみると、家族の絆が薄くなりそこからおこるさまざまな事件があります。家族とは違い2歳から18歳までの児童50名と職員が集められて、生活をしているところが子供寮です。

血によるつながりはありませんが、心の絆を太くして家族にまさるつながりを持ち、助け合い支えあいながら生活をしていく中で、こどもに生きる力を育てていきたいと願っています。

冬休みは35人のこどもが残りました。私達にとっては毎日戦争ですがこどもにとっては楽しい冬休みです。

昨年こども達のために、あたたかいお心を賜りましたことを感謝申し上げます、こころから御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

末筆になりますが、新しい年が、恵み多い年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

感謝と御礼まで

2011年1月

こども達に“お茶”をありがとう
ございました。大変助かり
ます。小澤様のおたかい
心に、残量にも感謝と御礼
を申し上げます。

聖フランシスコ子供寮
施設長 釘宮 礼子

